

中国研究科

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【修士課程】

中国研究科修士課程では、人文系・社会系の2系統にコースに分かれ、それぞれの希望専攻に対応しています。まず、人文・社会両系統を総合化する能力を身につけかつ中華世界を総体的に理解し考察する基礎的な能力を育成するために、「中国学総論 a・b」・「中国研究方法論 a・b」を1年次におき、いずれか1科目をコースの如何を問わず選択必修としています。それに、各自の希望専攻分野に応じて必要な科目都合32単位を履修しつつ、演習を通じて担当指導教授による研究・論文指導が行われます。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われます。

また、修士課程では中国人民大学、南開大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、1年間の中国留学、日本留学で留学先大学の所定の科目履修及び留学先大学の指導教授からの研究指導を受けます。両大学における必要な単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できます。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、3年以上の在学が必要であり、その中で必修の研究演習において博士学位論文作成のための基本が示されます。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われます。

また、博士後期課程においては中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、2年次に義務付けられた1年間の中国留学、日本留学で留学先大学の所要の科目履修及び留学先大学の指導教授からの研究指導を受けます。両大学の単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できます。